



## 民国連携による 低コスト林業推進の取組

—— 三八上北森林管理署

当署では、三八上北流域における低コスト林業の普及・推進、地域の林業関係者の技術交流を目的として、地域発案システムで「低コスト林業の推進」を取り上げ、国有林のフィールドを活用し、列状間伐、高性能林業機械、低コスト路網などについて現地検討会などを開催しています。

昨年は、10月14日(木)に、三八上北流域林業活性化センターとの共催により、県内外から林業関係者約140名が参加し、上指久保国有林において開催しました。午前の現地検討会では、低コスト路網作設、ハーベスタと欧州型フォワーダのデモンストラーションを行い、メーカー担当者などとの活発な質疑応答がありました。午後は近くの公民館に移り、販売課による低コスト路網・作業システム・高性能林業機械の導入状況、青森県による低コスト間伐モデル事業などについて説明しました。

今年も、先に作成された森林作業道作設指針に基づき、低コストで壊れにくい森林作業道を作設する技術を高めるため、オペレータの実技に重

点を置いた現地検討会を10月に予定しています。

このほか、昨年からの民国連携の間伐事業として、民有林と国有林が隣接する箇所では、いっしょに間伐を行い、より大きな団地とし、土場や路網の共同利用、山元販売とすることにより、間伐コストを低減させる取組を行っています。昨年は、七戸町(上北森林組合)と東北町(東北町森林組合)の国有林でトライアルとして取り組み、民有林での団地化や事業着手の時期と合わないなど計画どおりに行かない面もありましたが、今年も他の地区で取り組む予定です。

以上、民国連携による低コスト林



新型フォワーダによる集材作業



低コスト林業について説明



低コスト作業路の説明

業推進の取組を紹介しましたが、地域の関係者による森林・林業・木材のPRイベントなども含め、今後も、森林・林業再生プランの実現に向け、国有林が少しでも地域の林業に貢献できるよう、民有林と連携して取り組んでいく考えです。